

履歴書・研究業績等（記入例）

応募科目	国際経済論	事務記入欄（記入不要）	
------	-------	-------------	--

氏名	1964年 3月 1日生	年齢	××歳
(ふりがな) ほうせいたろう	現在の職・地位など		
法 政 太 郎	○△大学△△学部准教授		
自 宅 連 絡 先 (住所)		写真貼付 縦 4 cm × 横 3 cm ※ 写真の裏に 氏名記入	
〒102-8160 東京都千代田区富士見 1 1 1 - 1 1 1 - 1 1 1			
TEL 03-0000-0000, 090-0000-0000	E-mail hoseitarooo@abcdf.ne.jp		
職 場 連 絡 先 (住所)			
〒102-8160 東京都千代田区富士見 0 0 0 - 0 0 0 - 0 0 0			
TEL 03-0000-0000	E-mail hoseitarooo@abcde.ac.jp		
学 位 ・ 称 号 等	授与年月	学位・称号名	授与大学等名称
	95年 5月	経営学 博士号	H***** University, Business School
	88年 3月	経営学 修士号	☆★大学経営学研究科経営学専攻
	86年 3月	経営 学士号	☆★大学経営学部
学 歴	学校名・学部学科名	修学期間（最終学歴のみ終了時）	該当する学歴
	☆★高校	79年 4月 ～ 82年 3月	高校卒業
	☆★大学経営学部	82年 4月 ～ 86年 3月	学部課程
	☆★大学経営学研究科経営学専攻	86年 4月 ～ 88年 3月	修士課程
		年 月 ～ 年 月	修士課程
	☆★大学経営学研究科経営学専攻	89年 4月 ～ 90年 8月	博士課程
	H***** University Business School	90年 9月 ～ 95年 5月	博士課程
H***** University, Business School	95年 5月	最終学歴	
職 歴			
00年 4月 1日	○△大学△△学部准（助）教授		現職
98年 9月 1日	△□研究所客員研究員（非常勤）		現職
年 月 日			現職
96年 4月 1日	○○大学△△学部専任講師（～00年 3月 31日）		過去職
95年 9月 1日	□□大学△△学部助手（～96年 3月 31日）		過去職
88年 4月 1日	○×△商事（～89年 3月 31日）		過去職
年 月 日			過去職
年 月 日			過去職

応募科目	国際経済論	事務記入欄 (記入不要)	
------	-------	--------------	--

氏名	法政太郎
----	------

所属学会 (あれば当該学会活動に関する特記事項)	
01年 5月	日本〇△×□学会 (理事 (04年4月~05年3月))
95年 2月	American *** *****
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

主要業績リスト (主要3点を重要度の高いものから上より記入し、それ以外は時系列で記入)

タイプ	著書・論文等題目	発表年月	発行所・発表雑誌名称、巻・号等
書・単	「わが国の FTA 戦略と WTO」、法政義雄(編)『21 世紀の国際経済』所収	04年12月	東方経済新報社
査・共2	“Harmonizing Import Quotas in an FTA”	05年9月	International Review of Trade and Finance, 51-2
論・単	「日本の貿易政策と調整プロセス」	07年2月	〇〇大学論集、12-1
査・共3	「貿易摩擦問題と景気変動」	05年5月	〇×△研究雑誌、39-2
論・共3	「EU の貿易政策と日本へのインプリケーション」	05年2月	☆□研究、62

応募科目	国際経済論	事務記入欄（記入不要）	
------	-------	-------------	--

氏名	法政太郎
----	------

主要研究業績の概要（各 200 文字程度）	
研究業績名：「わが国の FTA 戦略と WTO」、法政義雄(編)『21 世紀の国際経済』所収	
この論文では、.....	
研究業績名：“Harmonizing Import Quotas in an FTA”	
この論文では、.....	
研究業績名：「日本の貿易政策と調整プロセス」	
この論文では、.....	

応募科目	国際経済論	事務記入欄（記入不要）	
------	-------	-------------	--

氏名	法政太郎
----	------

最近の教育活動（担当科目、TA、RA など）	
時期	事項
06年前期	応用計量経済学（講義形式、○△大学、学部3～4年対象、04～05年も実施）
06年通年	国際貿易論（講義形式、○△大学大学院、夜間修士対象、01～05年も実施）
06年後期	国際貿易論（講義形式、○△大学大学院、夜間修士対象、01～05年も実施）
06年通年	演習（ゼミ形式、○△大学大学院、夜間修士対象）
04年9月	国際経済と日本経済（講義形式、△■研究所、一般向け、オムニバス形式、計6時間）
95年後期	International Finance（TA、H***** University、93～94年も実施）
95年	Prof. Mike LeBaron（H***** University）のRA（93～94年も実施）
95年1～8月	Prof. A. Rachel Kose（H***** University）のRA。
年月	
年月	
年月	
年月	
最近の社会における活動	
期日	事項
04年4月	※※県○○委員会委員（06年2月まで）
03年1月	■◆省△◇局○○審議会審議委員（03年9月まで）
02年4月	○○会評議委員（現在に至る）
年月	
年月	
年月	
賞罰（重要なものから記入すること）	
期日	事項
03年7月	日本○○△△図書賞受賞。
年月	
年月	
年月	
年月	

上記の通り、相違ありません。

年 月 日 氏名（自筆） 印

履歴書・研究業績等の記入要領

基本事項

- (1) 不備のある場合は、審査の対象になりません。正本一通については、自筆署名、押印、写真貼付等を忘れないようにしてください。コピー三通については、正本をコピーしてください。
- (2) 履歴書のフォーマットは変更しないでください。1 ページに収まっているものが、2 ページにまたがってしまわないようにしてください。ただし、ワードで記入する場合、文字のフォントやサイズを適宜調整することは構いません。
- (3) 該当しない欄は、適宜空欄にして構いません。
- (4) 年号は全て西暦でご記入下さい。上二桁(19 や 20)は省略して構いません。

個別事項

- (1) 「現在の職・地位など」は、現在の最も主たる職や肩書きなどを記入してください。
 (例) ○△大学××研究科博士後期課程3年生
 ○△大学××研究科准教授
 □△銀行調査部☆△部長
- (2) 「学歴」は該当部分のみ記入してください。ただし、最終学歴は必ず記入してください（上に出てくる学歴から明らかな場合にも最終学歴欄は必ず記入）。
- (3) 「職歴」については、左欄には開始時期を、右欄には具体的な所属先名称や肩書き、ならびに退職・終了時期を記入してください。
- (4) 「所属学会」については、左欄には入会時期を、右欄には学会名や当該学会活動に関する特記事項を記入してください。
- (5) 「主要業績リスト」は、上3段に提出する主要著作・論文を記入（1段目が最重要論文）してください。また、「主要業績リスト」は、上4段目以降に提出していない主要著作・論文を発行(発表)順に記入してください。この欄に記入しきれない場合は、この履歴書と同じフォーマットで別紙にご記入下さい。
- (6) 「主要業績リスト」のタイプの意味は以下の通りです。

タイプ	意味
書・単	単著の出版社から出版された書籍または書籍の1部
書・共2	2名による共著の出版社から出版された書籍または書籍の1部
書・共3	3名による共著の出版社から出版された書籍または書籍の1部
書・共4	4名以上による共著の出版社から出版された書籍または書籍の1部
査・単	単著の査読付論文
査・共2	2名による共著の査読付論文
査・共3	3名による共著の査読付論文
査・共4	4名以上による共著の査読付論文

論・単	単著の査読なし論文
論・共2	2名による共著の査読なし論文
論・共3	3名による共著の査読なし論文
論・共4	4名以上による共著の査読なし論文
学会発表	学会における発表（または発表予定）論文
研究会報告	研究会やワークショップなどにおける発表（予定）論文
報告書	受託研究や官公庁などの報告書
ビデオ	ビデオ資料
その他	「発行所又は発表誌名称、巻・号等」に具体的に記入

※「査読付論文」については、受理済のものを含む。その場合、受理されたことを証明する書類またはメールを添付すること。

※「査読なし論文」とは、査読なし論文集への掲載論文などを指す。

※ワーキングペーパーやディスカッションペーパーは「その他」に含めること。

以 上